

福島復興支援策に関するアンケート調査
報告書

2023 年

日本原子力学会 福島特別プロジェクト

目 次

1. はじめに	3
2. 本調査の目的（調査概要（方法、属性等含む）を含む）	3
3. 調査結果	4
(1) 震災に伴う住民の動き（現在の居住地と震災時の避難（避難先含む））	4
(2) 現在の生活で重要なテーマ	6
(3) 国が進める復興支援施策に関する認知度と効果.....	7
福島イノベーション・コースト構想.....	9
福島再生加速化交付金.....	12
風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略.....	14
特定復興再生拠点区域復興再生計画.....	17
福島相双復興官民合同チームの被災事業者自立支援.....	19
(4) 福島の今後へ向けた期待.....	21
福島浜通り地域の国際教育研究拠点.....	21
浜通り地域が目指すべき将来像	23
4. まとめ.....	32
5. 問題提起.....	32
6. おわりに.....	33

1. はじめに

福島特別プロジェクトは、福島の住民の方々が少しでも早く復帰できるよう、住民の方々と国や県とのインターフェースの役割を果たすべく、住民の立場に立ち、必要な情報を原子力の専門家集団として正確でかつわかりやすく発信するとともに、福島県でのシンポジウムの開催や地域住民の方々と直接的な対話活動などを行ってきた。また、福島市内の環境再生プラザ（旧除染情報プラザ）や市町村への専門家派遣も継続して行ってきた。

一方、国においては、福島復興再生特別措置法（平成 24 年 3 月 31 日施行）に基づき、福島復興再生基本方針を策定し、福島の復興・再生を推進してきたが、復興を加速するためのとして、平成 28 年 12 月に「原子力災害からの福島復興の加速のための基本指針」を閣議決定し、福島復興再生特別措置法を改正した（平成 29 年 5 月 19 日施行）。これにより、避難指示の解除と帰還に向けた取組の拡充、帰還困難区域の復興の取組、新たな生活の開始に向けた取組の拡充、事業・生業や生活の再建・自立に向けた取組の拡充などのための施策が打ち出された。

2. 本調査の目的（調査概要（方法、属性等含む）を含む）

これに対し、福島特別プロジェクトでは、これまで行ってきた活動を通じて得た「復興再生が思うように進んでいない」と地域住民が感じているのではないかとの認識から、復興庁をはじめとする国による復興支援に関して、地元住民の受け止め、評価、期待等を聞くことにより、国の事業による地域活性化の効果を明らかにし、福島の住民が本当に必要としている支援と国の施策にはかい離はないのか、住民が国に対して求めるものは何なのか、どのような地域にしていきたいのかを把握することを目的としてアンケート調査を実施することとした。

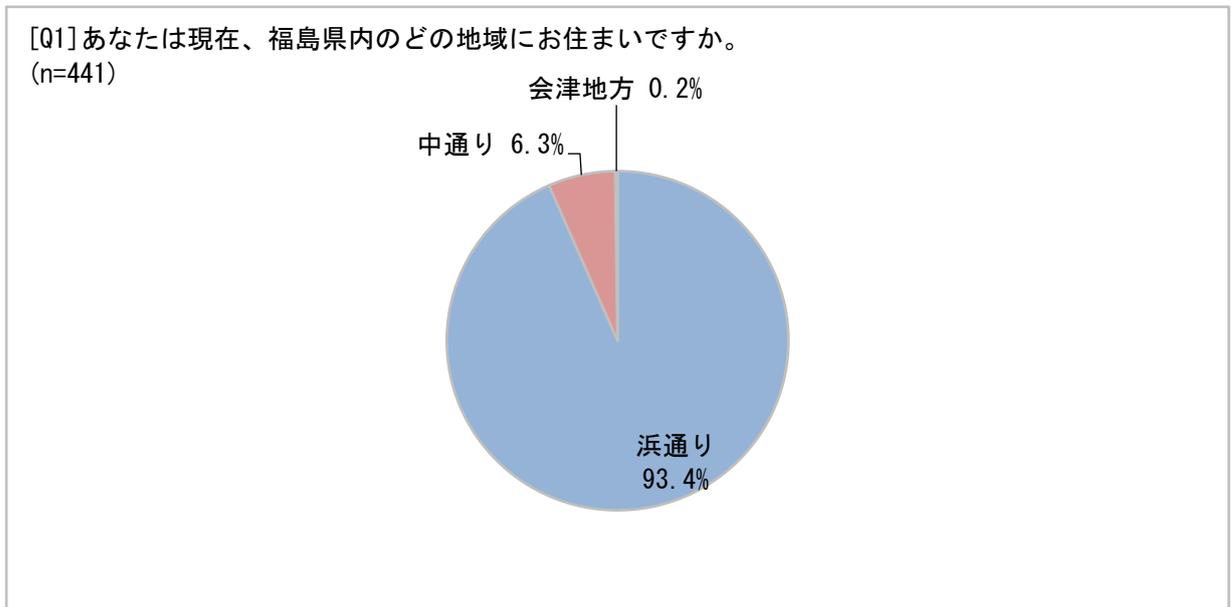
調査概要

- (1) 調査方法：インターネットアンケート
- (2) 調査対象者：福島県浜通りの市町村および中通り（福島市、郡山市、会津（二本松市）の住民
- (3) 調査期間：2021 年 5 月 25 日～28 日
- (4) 回答者数 441 名
- (5) 調査項目：
 - 居住地（震災後に移転した場合には、当時の居住地）
 - 年齢、性別
 - 避難状況
 - 生活において重要なテーマ（廃炉対策、インフラ、産業・雇用等）
 - 以下の支援策等について考え方を聞く
 - － 福島イノベーション・コースト構想
 - － 再生加速化交付金
 - － 早期帰還・定住プラン
 - － 風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略
 - － 特定復興再生拠点区域復興再生計画
 - － 福島相双復興官民合同チームの被災事業者自立支援
 - 復興・再生に必要な支援（施策）
 - 浜通りの将来像
 - その他自由記述

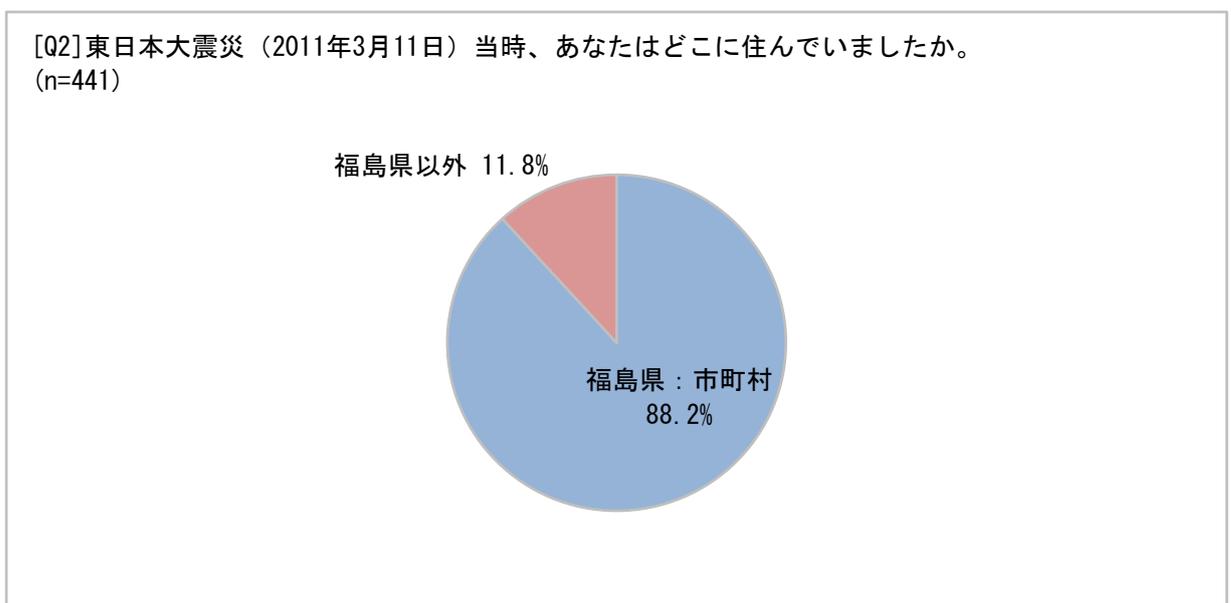
3. 調査結果

(1) 震災に伴う住民の動き（現在の居住地と震災時の避難（避難先含む））

現在の居住地



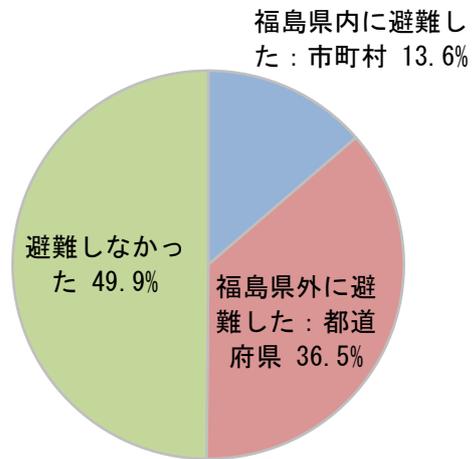
震災時の居住地



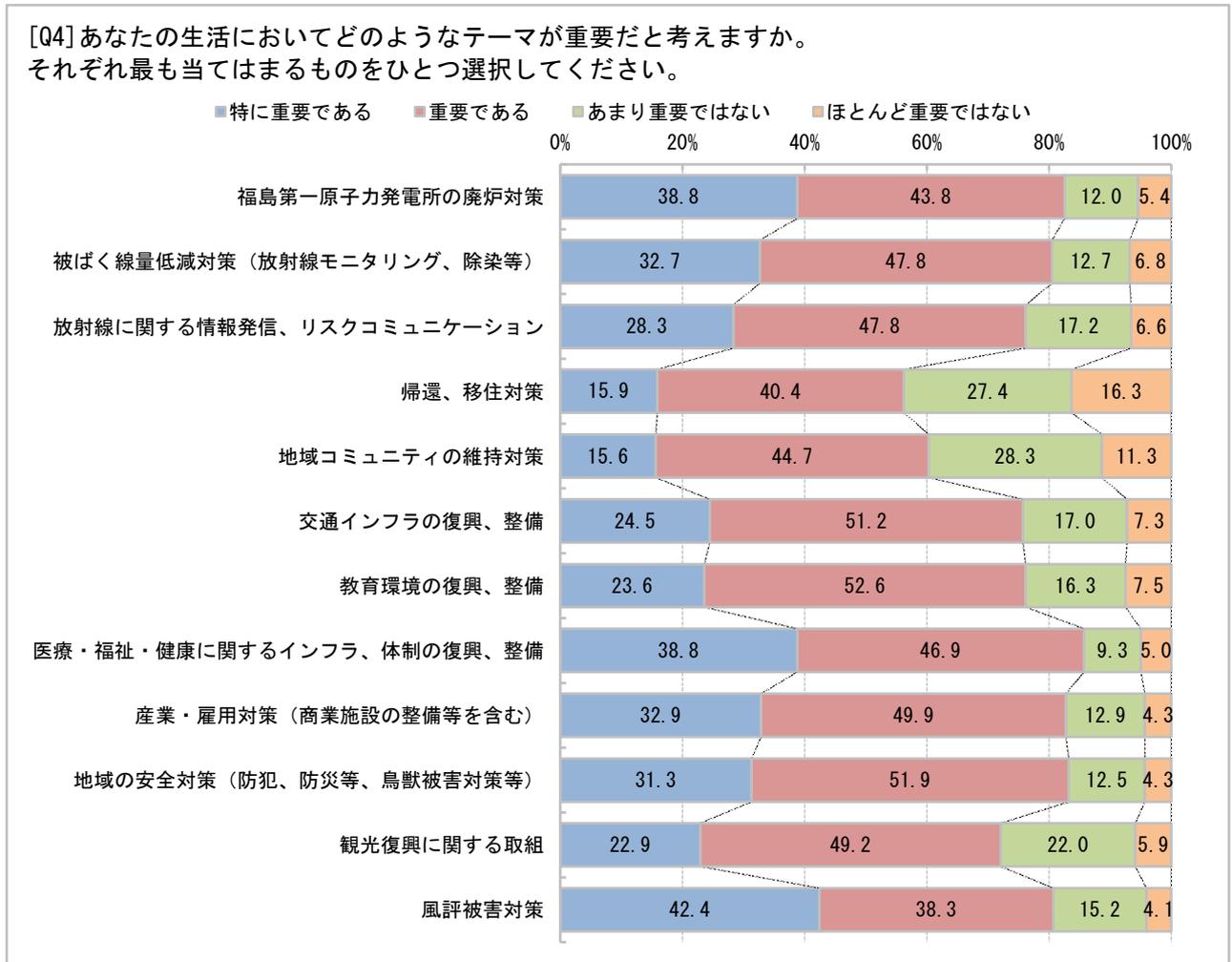
いわき市	303	富岡町	4	伊達市	1
南相馬市	34	浪江町	4	川内村	1
田村市	23	広野町	2	飯舘村	1
楡葉町	5	大熊町	2	福島県外	52
福島市	4	会津若松市	2		

避難の有無

[Q3] 東日本大震災を受けて、あなたは避難しましたか。
(n=389)



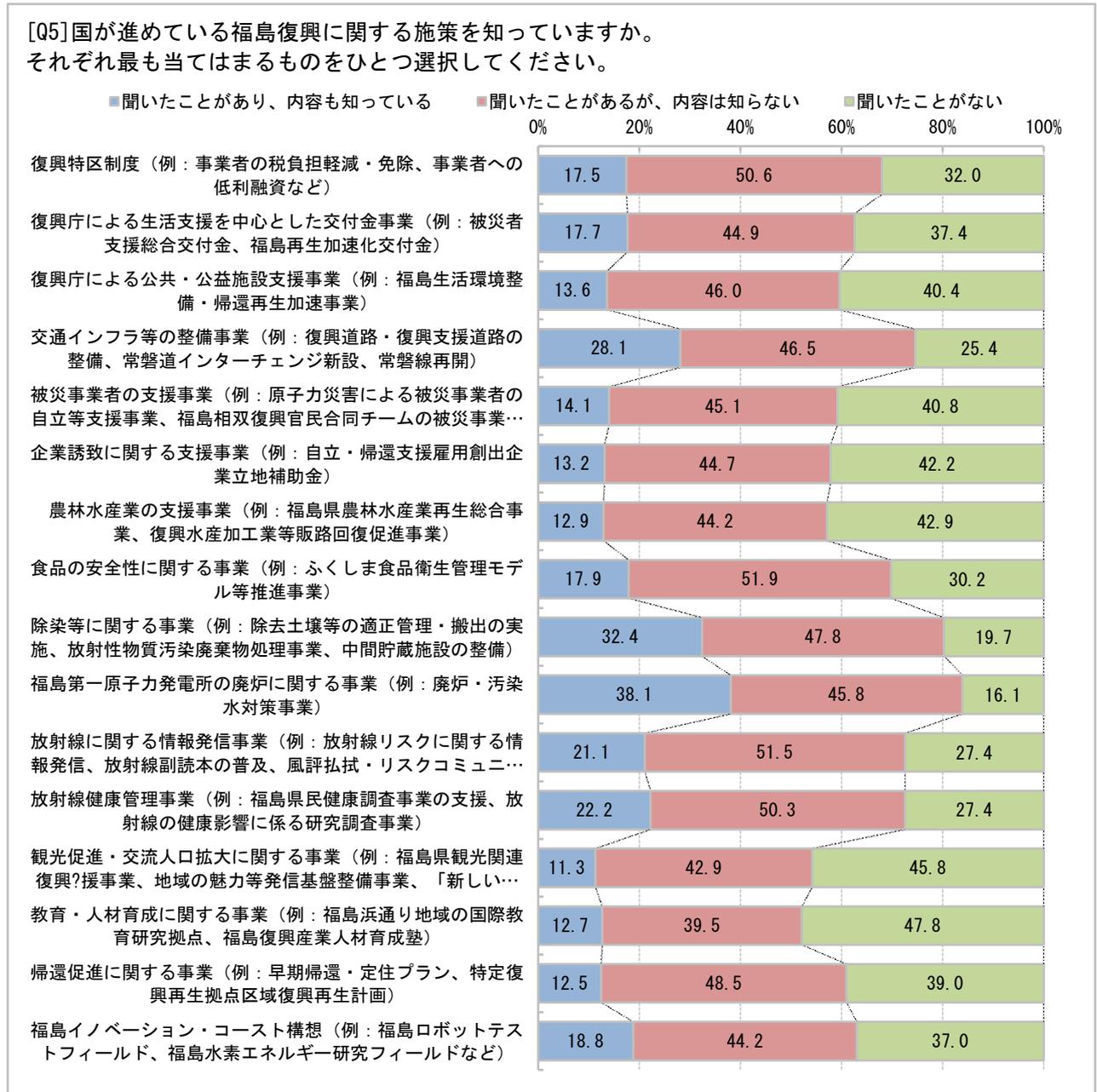
(2) 現在の生活で重要なテーマ



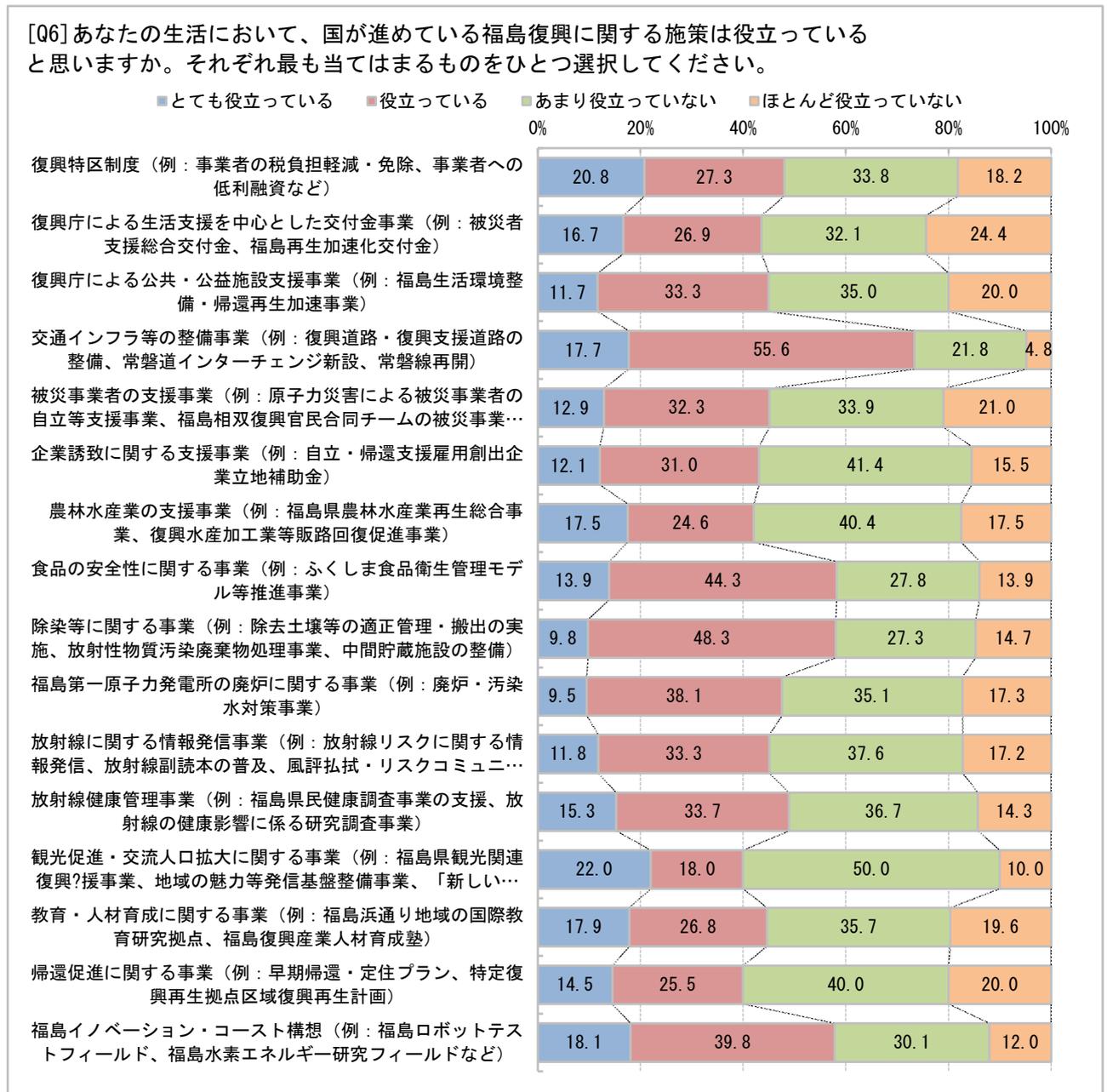
- 今回のアンケートにおいて、考え方を聞いた国の支援策を含む分野については、「帰還、移住対策」を除いて概ね重要と捉えている。
- 各分野における男女比もほぼ同じ割合となっている。
 - 回答者の多くがいわき市在住であり、帰還困難区域から避難したいわき市に在住の方々もすでに定住しており、すでに帰還を希望していないのではないか。

(3) 国が進める復興支援施策に関する認知度と効果

施策の認知度



施策の効果



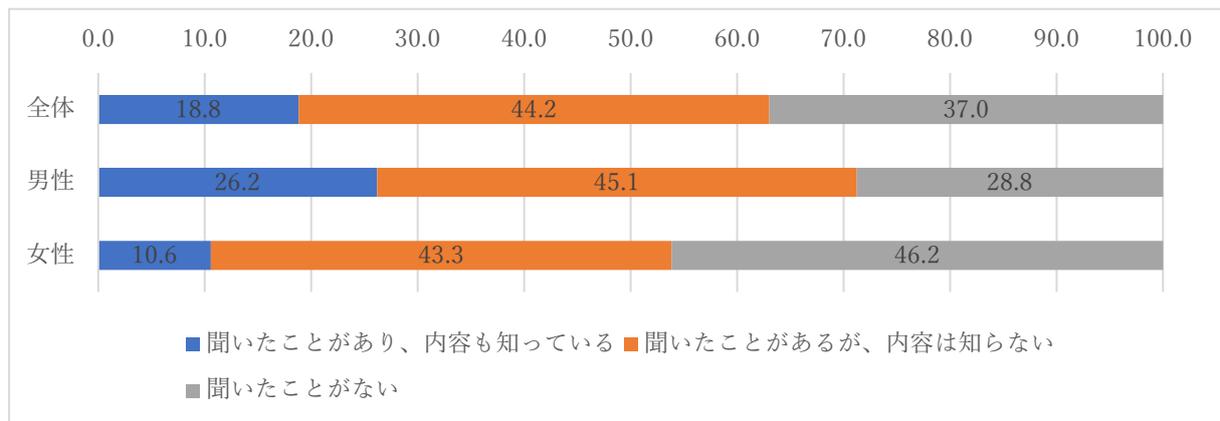
- 考え方を聞いた支援策を含む国の施策（再生加速化交付金、風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略、特定復興再生拠点区域復興再生計画、福島イノベーション・コースト構想）の認知度については、交通インフラ整備、除染や福島第1原子力発電所廃炉事業などと比較して、かなり低い数字となっている。
 - 交通インフラや除染は生活に密着した施策であること、福島第1原子力発電所廃炉事業も「再臨界はないのか」といった声も聞かれたことから、廃炉が着実に進むことによる生活の安定に向けた関心度が高いと考える。
- 各施策における男女比をみると、イノベーション・コースト構想については、男性の割合がかなり高いが、その他はあまり差が出ていない。

具体的な施策の認知度と効果

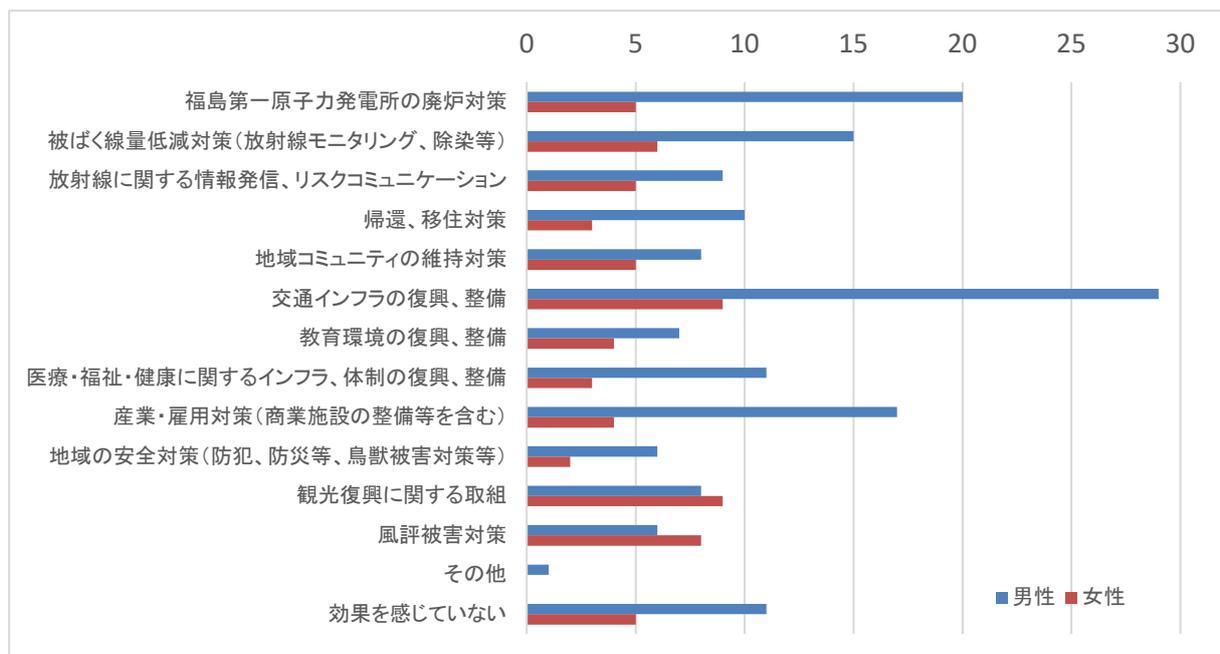
福島イノベーション・コースト構想

浜通り地域等の産業を回復するため、当該地域の新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトで、ロボット、エネルギー、廃炉、農林水産、医療関連、航空宇宙等の分野におけるプロジェクトの具体化を進めるとともに、産業集積や人材育成、交流人口の拡大等に取り組んでいる

Q 国が進めている福島復興に関する施策【福島イノベーション・コースト構想（例：福島ロボットテストフィールド、福島水素エネルギー研究フィールドなど）】を知っていますか。それぞれ最も当てはまるものをひとつ選択してください。（n=441）



Q 福島イノベーション・コースト構想に関して、現在、効果を感じている分野を全て選択してください。「その他」を選択した場合、具体的に効果を感じている事柄を記入してください。
上記 Q にて「聞いたことがあります、内容も知っている」と回答した方の回答（男性=61/女性=22）



何らかの効果を感じている回答者の自由記述

(効果を感じた具体的な内容や不足していると感じる部分など、ご意見がございましたらご自由にご記入ください。)

(男性)

- ・ 雇用は生まれるが、ロボットで何をしたいのか結果が出せてない気がする。
- ・ いろいろやっている
- ・ 実際に高速道路がつながるところが増えたり、交通の便がよくなったと感じている。
- ・ 一般にはわからない
- ・ 施設が増えている
- ・ 県外の産業人への周知徹底
- ・ イノベーション・コーストってどういう意味ですか？そこから始めたらどうでしょうか
- ・ すべてイマイチ。中途半端。分散し過ぎ。税金の無駄遣い。とにかく酷い
- ・ 費用対効果が知りたい
- ・ 政府の対応はまだ不足している
- ・ 福島イノベーション・コースト構想は震災被害についても関係しているらしいが、少なくとも震災被害に関する対策については、目に見えて効果が実感できないと思います。
- ・ もっと分かりやすく
- ・ 特に問題なし
- ・ 人の活動が再開される地区が少しずつ増えてきた
- ・ わからない
- ・ 廃炉関係に携わる関係者には影響があると思うが、一般市民にはなじみがなく、親近感がわかない。次第に定着し一般市民、家庭においても恩恵があると感じられるまでには時間がかかると思う。
- ・ 国、県の対策が場当たりのでよく効果がわからない
- ・ なんとなく
- ・ 進捗が遅い
- ・ ニュースでロボット開発などを見聞きするが、実際に人口が増えているという実感はない。
- ・ 何をどうしているかの情報が入りにくい 知らないことが多いと感じます。道路整備や除染関係は頑張っている印象をうけます
- ・ 白地地区は置き去りにされている
- ・ 難しいことはわからない
- ・ 実感がない
- ・ 情報発信
- ・ 人が増えないという前提を無視した構想は無意味である。やるなら旧帝大に匹敵する高等教育機関（超大学）を設置し、学生を1,000人程度（1学年）配置する程度のことやれ。

(女性)

- ・ 風評被害に対して、さまざまな努力をしている
- ・ 知事は良くやっていると思う
- ・ バリケードも減り道路が走りやすく整備されていること。防犯面が心配でいまだに富岡の家では泥棒が入ったりする。
- ・ 企業への助成金支援や人材活用など
- ・ 教育機関や最先端技術の企業がたくさん誘致され、嬉しく思っています。田舎である地域で

新しい教育を受けられることや、新たな雇用が生まれることはいいことです。この町が原子力発電に頼らない、資源を枯渇させない再生可能エネルギー100%で賄えるような、新しい生活のモデルタウンになることを願っています。

- ・ 地域住民への周知が必要だと感じる。
- ・ 効果を感じたのは、ロボットやドローン。不満な点は、廃炉が全く進まないこと。
- ・ 実際にロボットテストフィールドへ足を運んだ事もありますが、主にドローンを使用した復興支援や災害対応、また農業に対してドローンを通し若者でも興味を持ちやすいと思った

効果を感じていない回答者の自由記述

(男性)

- ・ 専門的で、難し過ぎて判りにくい
- ・ ない
- ・ ほとんど全部
- ・ いわき市民から見ると複雑です。復興のため？予算を使うため？ちぐはぐな印象。
- ・ 新聞などで実験や研究の話をはよく耳にするが それはあくまで他県の企業が南相馬市で実験をしているというだけでいまいち地域に貢献しているようには思えない。実験場だけではなく人材を育成する教育機関 ロボットを開発する企業が南相馬市に作らない限りは復興はほど遠いと感じる
- ・ 地元民の雇用を増やして欲しい
- ・ 工業促進事業
- ・ 不要 高校でもこれに関連する授業の枠があるがカタチだけ。無駄
- ・ ただやってる感じ。
- ・ お役所仕事で住民の気持ちがわかっていない

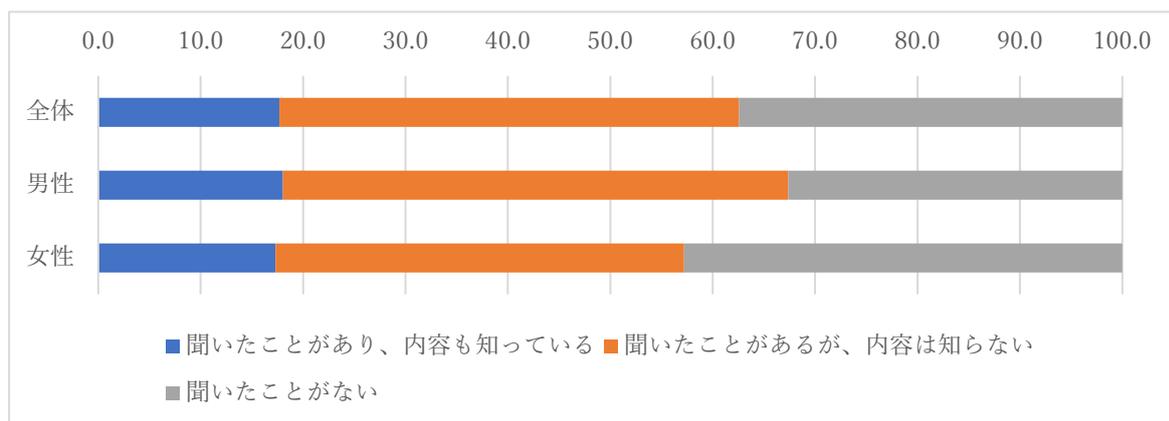
(女性)

- ・ 全て
- ・ なし
- ・ 重要度、認知度ともにある程度の高さにあるが、認知度の男女比に大きな差がある。
- ・ 男性は、福島第1原子力発電所炉対策、除染、交通インフラ、産業・雇用対策といった社会的インフラに効果があると感じている。一方女性は、観光復興や風評払拭といった生活につながる分野での効果を感じている。
 - イノベーション・コースト構想は、浜通り地域などに産業基盤の構築を目指す施策であり、この地域が自立的・持続的に産業発展できるような取り組みを行うとしているが、地域の方々にはその方向性がうまく伝わっていないのではないかと考える。
- ・ 自由記述では、ある程度の効果に期待はあるものの、地元への直接的な効果が足りないと感じている意見が多いように思うが、本来の目的である地域の将来を考えた取り組みであることは実感できていないのではないかと。

福島再生加速化交付金

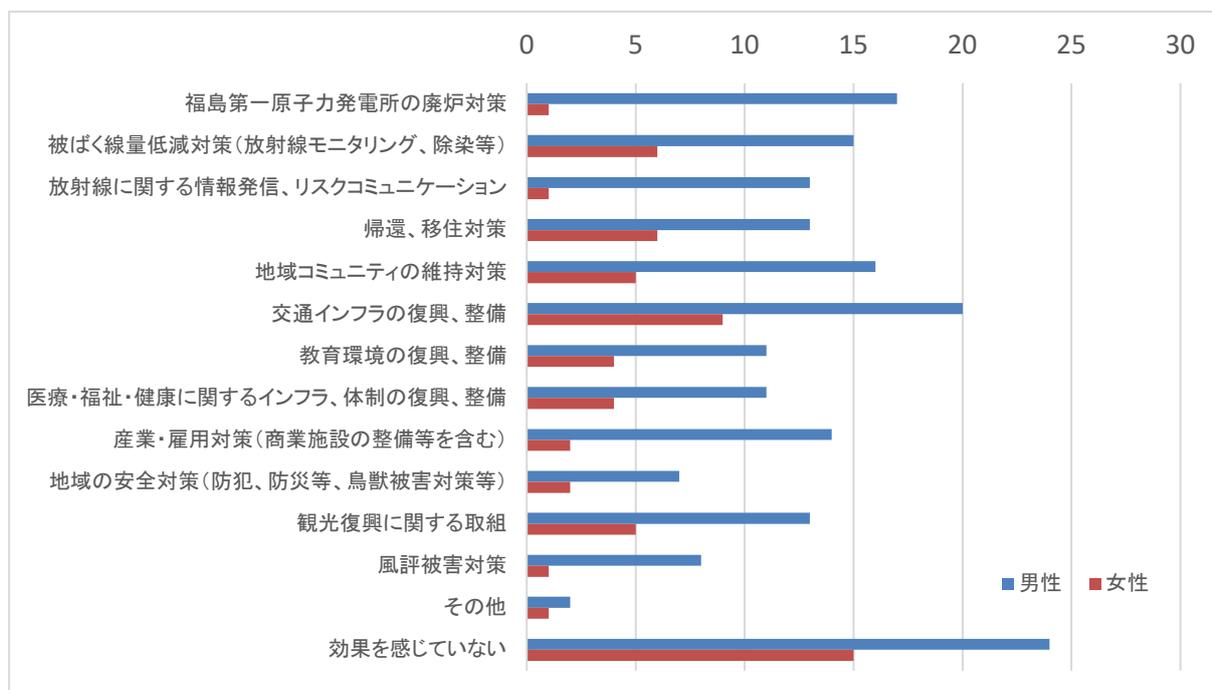
避難指示を受けた 12 市町村等を対象に、長期避難者の生活拠点整備や帰還のための生活環境整備等及び新たな住民の移住・定住等の促進の施策を一括して支援するもの（帰還・移住等環境整備、長期避難者生活拠点形成、原子力災害情報発信等拠点施設等整備、既存ストック活用まちづくり支援、水産業共同利用施設復興促進整備事業、福島定住等緊急支援）

Q 国が進めている福島復興に関する施策【復興庁による生活支援を中心とした交付金事業（例：被災者支援総合交付金、福島再生加速化交付金）】を知っていますか。それぞれ最も当てはまるものをひとつ選択してください。



Q 再生加速化交付金に関して、現在、効果を感じている分野を全て選択してください。「その他」を選択した場合、具体的に効果を感じている事柄を記入してください。

上記 Q にて「聞いたことがあります、内容も知っている」と回答した方の回答（男性=42／女性=36）



何らかの効果を感じている回答者の自由記述

(男性)

- ・ 色々なことが遅れている
- ・ まあ、関係ある人には意味あるんじゃない
- ・ 費用対効果が分かりづらい
- ・ 特に問題なし
- ・ 交付金を早めに配り復興を迅速に
- ・ わからない
- ・ ただのバラマキにしか思えない
- ・ そもそも、何にどのように交付金が使われているか不透明だ
- ・ 先程同様、実行をより早くしてほしい
- ・ 当地区は被爆線量も少なく影響を感じておりません。
- ・ 交通インフラの整備などは効果を感じておりますが、人や企業の戻りが悪い 買い物をする場所や病院関係の整備も行わないと厳しいと思われまます。
- ・ 機関困難区域の効果を感じさせない
- ・ まだたりない
- ・ 風評被害は改善みられない。汚水を海洋排出したら、半永久的に風評被害は免れない。

(女性)

- ・ 新しい道路が出来ている
- ・ 認定こども園、インフラ整備などの効果は感じているが、店舗や工場の誘致など、産業面をもっと力を入れた方が望ましいと考える。また、病院施設も十分とは言えない。
- ・ 新たな企業の誘致は進んでいるように見えるので引き続き頑張ってもらいたい。
- ・ インフラ事業など環境整備が進んでいるのはありがたいことですが、実際に帰還する住民は少ないと思う。田舎暮らしをしたい若者が自由にのびのびと新しいコミュニティを形成していけるような、新しい町づくりを望みます。
- ・ わからない
- ・ 自分の住んでいる地域では、関係ない。
- ・ 道路ができた
- ・ もう少し住民が戻ってきてくれるような環境作りが必要。病院など。

効果を感じていない回答者の自由記述

(男性)

- ・ ない
- ・ 何もしていない
- ・ いわき市民がどうおもうか？少なくとも自分はあまり良い印象はないです。
- ・ 再加速化交付金というものについては詳しく知らないですが、周囲の様子を見る限り、そのような交付金を利用している人たちを知らないくらいなので、実行力に乏しい政策だと思います。少なくとも、再加速化交付金の支給について、周知徹底させた方がいいです。
- ・ 何に使われているのか分からない。

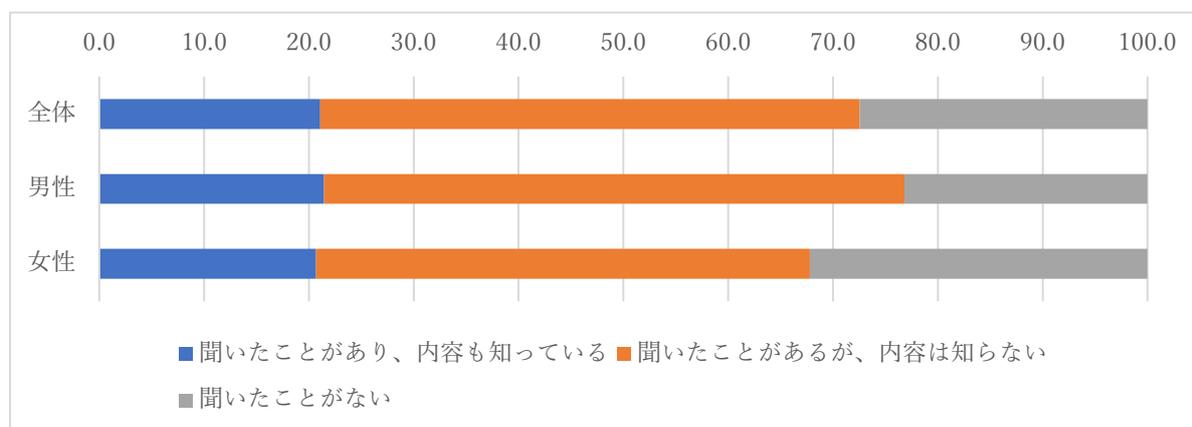
(女性)

- ・ ない
 - ・ よくわからない
 - ・ 避難民はすでに中通りに多く家を建てていて戻る気はないことがわかっている
- ・ 重要度、認知度ともに一定の高さにあり、男女比の差は大きくない。
 - ・ 効果については、認知度の男女比の小ささと比べ、男性が効果を感じている、または感じていないと回答している割合が大きい。
 - 具体的な施策としては、営農・商工業再開に向けた環境整備、長期避難者の公営住宅整備、子育て世帯の早期帰還に向けた環境整備、被災 12 市町村の街づくり支援などだが、男性は仕事などを通じてこれらの事業に接することができることから、効果についても何らかの感じを持っていると思われるが、女性は、直接自らの生活に関連していないと感じているのではないかとと思われる。
 - 生活環境整備を促進することにより帰還を進めることも一つの目的としており、認知度はそれほど低くはないが、認知している回答者の回答が「帰還、移住対策」に効果を大きく感じていないという結果となっているのは、支援策が住民の期待とうまくマッチしていないのではないかと。これを解消する方策はあるか。
 - ・ 自由記述からは、支援が足りていないというような感覚があるのではないかと考えられる。また、生活に密着した具体的な支援が見えにくいのではないかと考える。

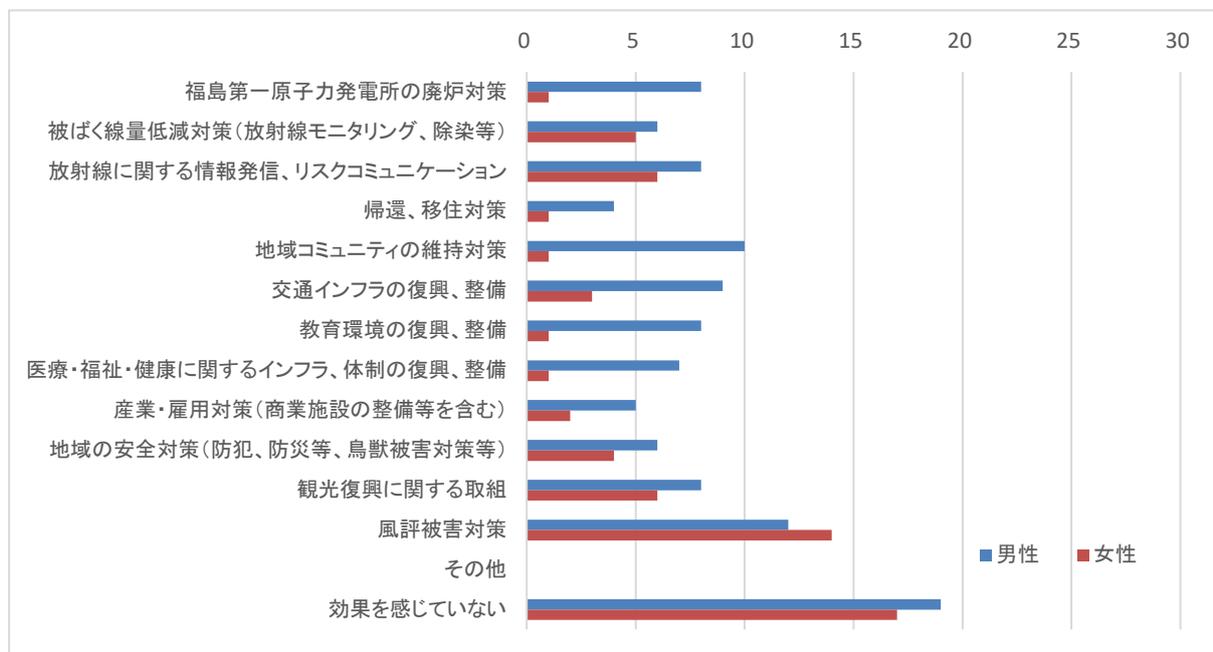
風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略

科学的根拠に基づかない風評の払拭やいわれのない偏見・差別を解消すべく、広く国民一般に対して、より具体的な情報発信を進めていくための政府全体の方針として、「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略（「知ってもらう」、「食べてもらう」、「来てもらう」の3つの視点から「伝えるべき対象」、「伝えるべき内容」、「発信の工夫」等を重要な順に明示）」を策定し、関係府省庁が連携して取組を進めるとともに、継続的にフォローアップを行う。

Q 国が進めている福島復興に関する施策【放射線に関する情報発信事業（例：放射線リスクに関する情報発信、放射線副読本の普及、風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略）】を知っていますか。それぞれ最も当てはまるものをひとつ選択してください。



Q 風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略に関して、現在、効果を感じている分野を全て選択してください。「その他」を選択した場合、具体的に効果を感じている事柄を記入してください。
上記 Q にて「聞いたことがあり、内容も知っている」と回答した方の回答（男性=50/女性=43）



何らかの効果を感じている回答者の自由記述

(男性)

- ・ ある程度の風評被害の払拭
- ・ 観光に力を入れても風評被害などで元の形に戻すのは大変である。ここは絶対に安全であるという証明をしなくちゃいけないと思う。
- ・ 県民がもっと積極的に食べる。
- ・ 実質的な払しょくにつながっていないと思う
- ・ メディアを通じて安全性をアピールしていると思う。
- ・ 町の景色は変わって行っている。
- ・ まだまだ風評被害が有る
- ・ 特に問題がある
- ・ 廃炉作業が進まなければ何にもならない
- ・ 評価するには時期尚早
- ・ 少なからず福島県と言うだけで風評被害はあると思うのでいまの現状をもっと多くの人に知ってほしい。
- ・ あまり市民に説明がない
- ・ 企業努力のみ。
- ・ まだ足りない

(女性)

- ・ 嫌だと思う人に無理に進めてもダメだと思う 普通に暮らしていけば皆忘れるのではないかなと思う
- ・ 福島県民と県外の人向けの2種類の冊子があれば良いと思う。
- ・ 目に見えないものは難しいと思う
- ・ 風評被害を直接感じる事が少なくなった。魚などが安心して購入できる。
- ・ 汚染水を放出したら風評が酷くなること。
- ・ 未だに風評被害が抜けないので宣伝などを広げないといけない
- ・ テレビなどでの放送

効果を感じていない回答者の自由記述

(男性)

- ・ 実際復興はみないと分からない
- ・ マスコミの扱いでどうにでもなるのでは？金が動くときだけでは？
- ・ 県産品が全く売れていないから風評払拭は全くなされていないと思う。もっと PR すべきである。
- ・ 未だに風評被害が払拭されていないことから、実行力が全くないと思います。もっと全面に出していかないと、効果がないと思います。
- ・ よく住民に説明が不足している
- ・ 興味を持っている住民が少ない
- ・ 風評などない、実害である。ゆえに風評払拭など無意味。風評と思いたいだけの安心バイアスがかかった人向けのまやかし政策。

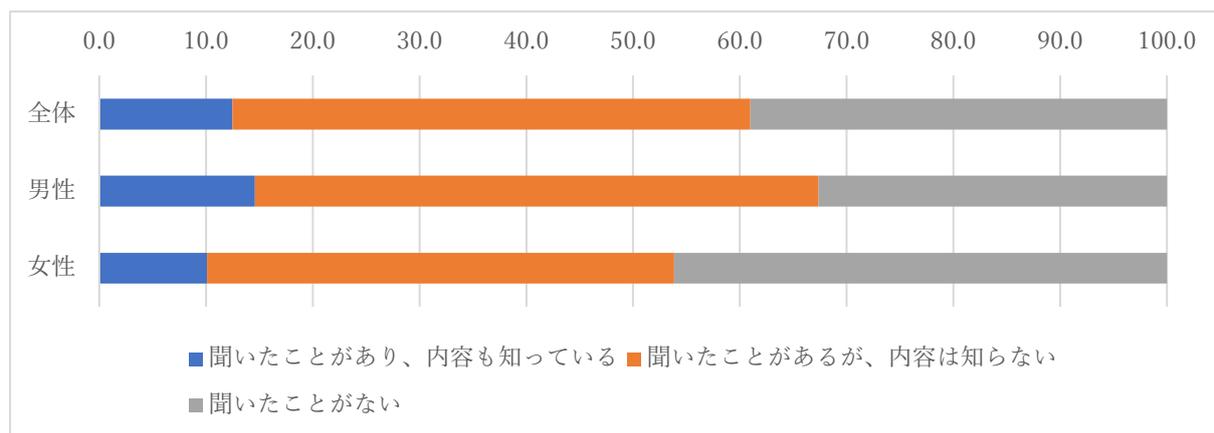
(女性)

- ・ 正しい情報を出して欲しい
 - ・ 風評払拭は時間がかかると思う
 - ・ 風評と言うものは、科学的根拠によるものではなく人がどう感じるかと言う部分なので、なんとなく風評被害があるなあと感じてはいますが、数値化できないので風評払拭を強化しても、それによって効果が出ているのか出ていないのかは判断できません。
-
- ・ 生活に重要なテーマであると考えている回答が最も多い分野。
 - ・ 認知度についても、4つの施策の内でもっとも高く、男女比もほとんどない。
 - ・ 効果については、風評被害対策が最も多い。
 - 男性は、幅広く効果を感じており、女性は、観光や風評、放射線に関するリスクコミュニケーションといった施策の目的に対して効果を感じており、日々の生活の中で効果を実感しているのではないかと考える。
 - ・ 自由記述からは、自らの生活から実感することが多いのではないかと考える。

特定復興再生拠点区域復興再生計画

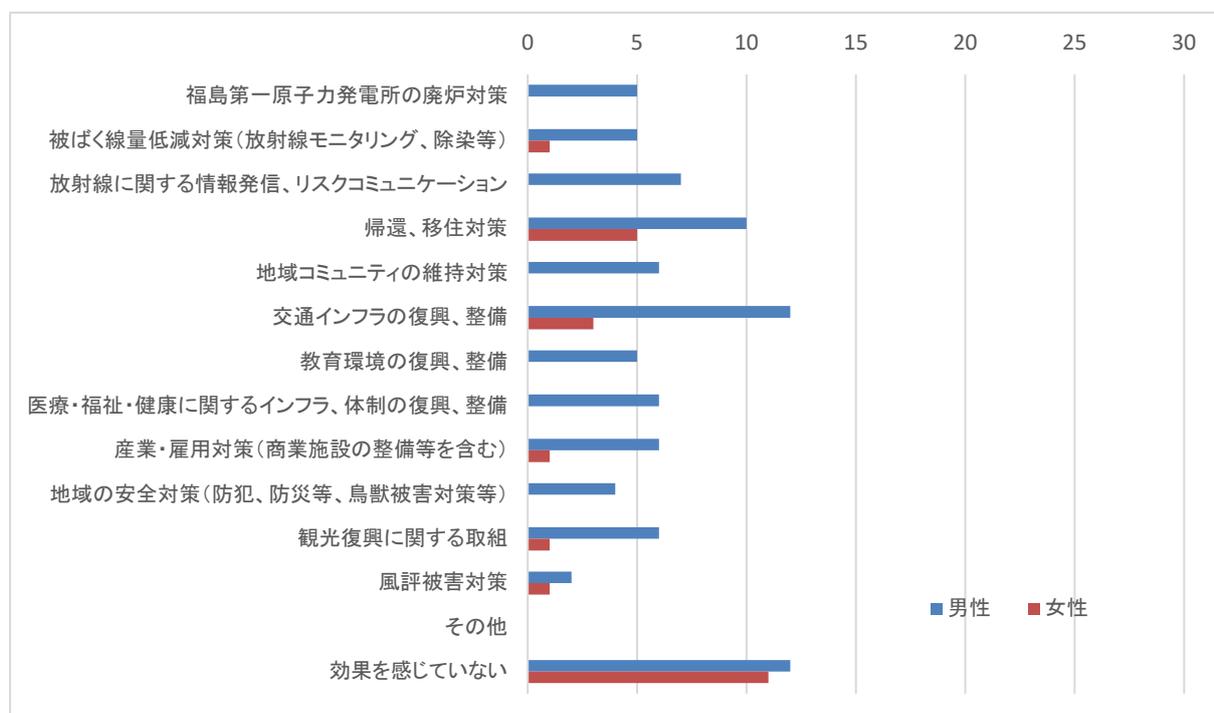
改正福島復興再生特別措置法により、将来にわたって居住を制限するとされてきた帰還困難区域内に、避難指示を解除し、居住を可能とする「特定復興再生拠点区域」を定めることが可能となり、市町村長は、特定復興再生拠点区域の設定及び同区域における環境整備（除染やインフラ等の整備）に関する計画を作成。同計画を内閣総理大臣が認定し、復興再生に向けて計画を推進する。

Q 国が進めている福島復興に関する施策【帰還促進に関する事業（例：早期帰還・定住プラン、特定復興再生拠点区域復興再生計画）】を知っていますか。それぞれ最も当てはまるものをひとつ選択してください。



Q 特定復興再生拠点区域復興再生計画に関して、効果を感じた具体的な内容や不足していると感じる部分など、ご意見がございましたらご自由にご記入ください。

上記 Q にて「聞いたことがあります、内容も知っている」と回答した方の回答（男性=34／女性=21）



何らかの効果を感じている回答者の自由記述

(男性)

- ・ 災害廃棄物が減ってきて、再生が実感できてきた
- ・ 特定だけでなくもっと子供たちが安全安心に遊べる場所もお願い致します。
- ・ 白区域が取り残されている。不公平さが大きい
- ・ まだ先になりそう

(女性)

- ・ 今回その区域に該当しない区域についての対策が全く見えてこない。
- ・ 特定復興再生拠点区域に関して、ニュースを見ていると微妙にこの区域から外れた人たちがフォーカスされているのでどう解決していくのかと不安を感じている。

効果を感じていない回答者の自由記述

(男性)

- ・ どれだけのヒトが帰還するのですか？
- ・ 原発動かしたほうが再生するでしょ
- ・ 未だに除染作業の結果生じた廃棄物が黒い袋に入って放置されているのに、どこが特定の拠点かは知らないが、本当に復興されているのか疑問なので、もっと目に見える形で復興している様を見せてほしい。
- ・ 実際何が行われているかの情報欠如
- ・ 無駄金をいつまで注ぎ込み続けるのだろうか???

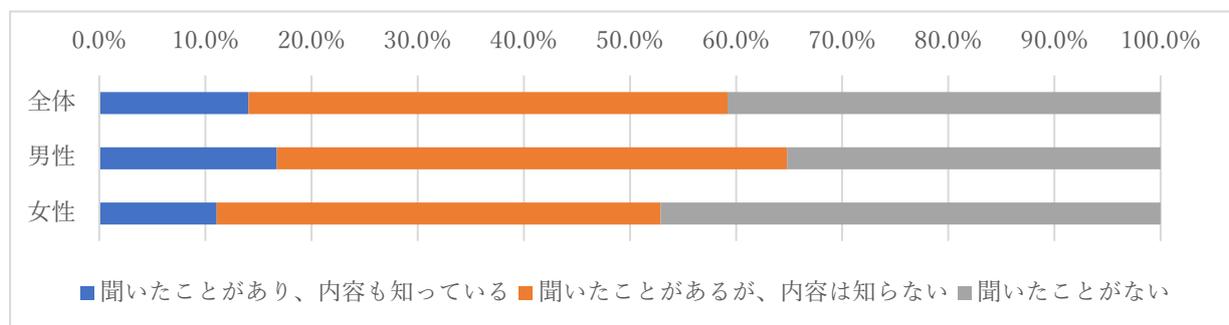
(女性)

- ・ 国が主導権を握るなら もっと全国に向けての発信をしてくれないと、同じ県内にいてもなかなかわかりにくいように感じた。
- ・ 重要度、認知度ともにもっとも低い。認知度の男女比では、女性が低い。
- ・ 効果についても、女性が効果を感じていると回答している分野がかなり少ない。
 - 生活に重要なテーマの回答でもそうであったが、回答者の多くがいわき市在住であり、帰還困難区域から避難されいわき市にお住まいの方々もすでに定住されており、すでに帰還を希望されていないのではないか。
- ・ 自由記述では、特定復興再生拠点区域はもちろんだが、もっと広い区域についての今後の取り組みを考えているように感じる。

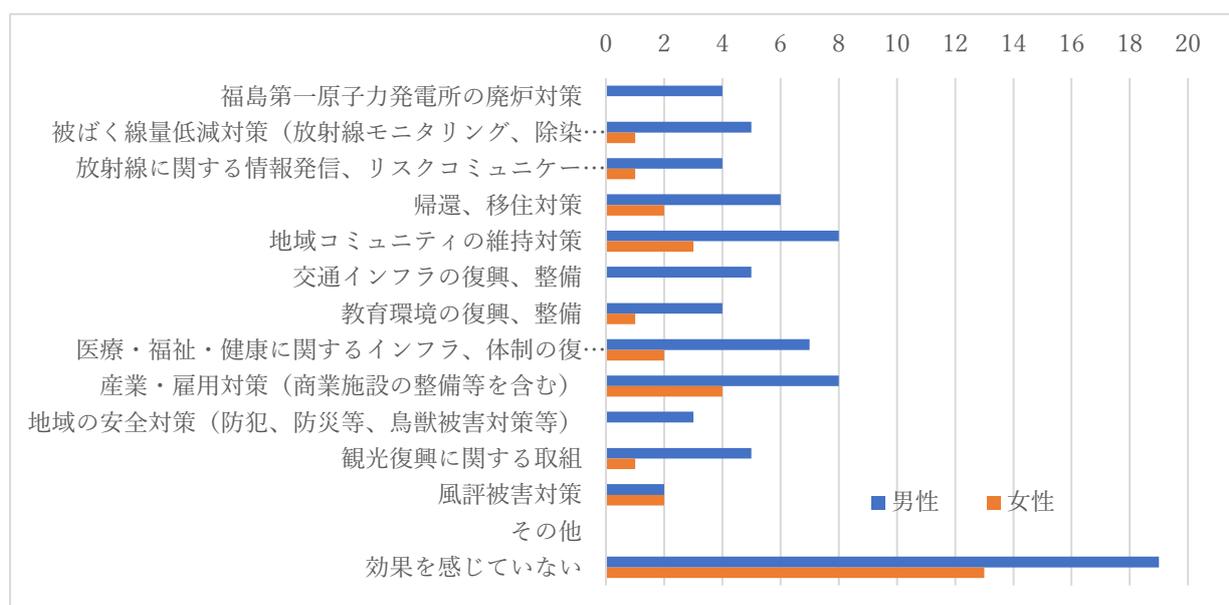
福島相双復興官民合同チームの被災事業者自立支援

福島相双復興官民合同チームは、平成27年6月12日の閣議決定に基づき、原子力事故により被災された方々の置かれている状況に寄り添った支援を実施し、事業・生業の再建を可能とするため、国・県・民間が一体となって人員や資金等を手当てし、復興支援策の実施主体となるため創設された組織。「東日本大震災当時、福島県内12市町村（田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村）において事業を営まれていた方々」「浜通り地域等（12市町村並びにいわき市、相馬市及び新地町）において水産関係の仲買・加工業等を営む方々」の事業再開・継続、東日本大震災当時、居住されていた方々の生活再建等に寄与することを目的とする。

Q 国が進めている福島復興に関する施策【被災事業者の支援事業（例：原子力災害による被災事業者の自立等支援事業、福島相双復興官民合同チームの被災事業者自立支援）】を知っていますか。それぞれ最も当てはまるものをひとつ選択してください。



Q 福島相双復興官民合同チームの被災事業者自立支援に関して、効果を感じた具体的な内容や不足していると感じる部分など、ご意見がございましたらご自由にご記入ください。
上記 Q にて「聞いたことがあります、内容も知っている」と回答した方の回答（男性=39/女性=23）



何らかの効果を感じている回答者の自由記述

(男性)

- ・ これは利用したが、これまた無意味。だってメンバーが素人ばかりで話ならない。こういうのやらないほうがいいよ。
- ・ 思ったほど事業を再開している事業者はいないので、自立支援の普及活動が十分ではないと感じます。
- ・ やる事が杓子定規で、役人っぽい。 余り意味のないことに手を焼きすぎる
- ・ 自立しようと思っている人の減少
- ・ 事業体を、戻そうと何度も相談しましたが、暮らす家が無くなってしまった人間に、泊まる部屋を作れば、個人資産になり、事業とは、無関係になり補助金は、使えないですとか、1週間の内、2日間では、戻った事として認められないとか、条件が合わず、10年間何も解決されません。もっと、問題解決に向け、条件緩和を願います。民のひとが、東電からの出向という事も、ストレスですし止めるべきだと強く思います。

(女性)

- ・ よくわからない。

効果を感じていない回答者の自由記述

(男性)

- ・ 帰還人口が増えず働き手不足で産業が活性しない。
- ・ まだ足りない。

(女性)

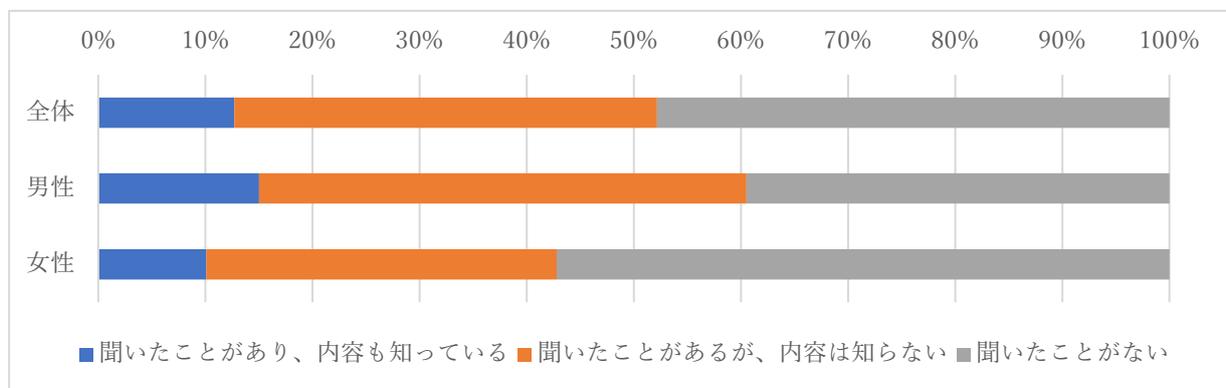
「特にない」以外の回答がなかった。

(4) 福島の今後へ向けた期待

福島浜通り地域の国際教育研究拠点

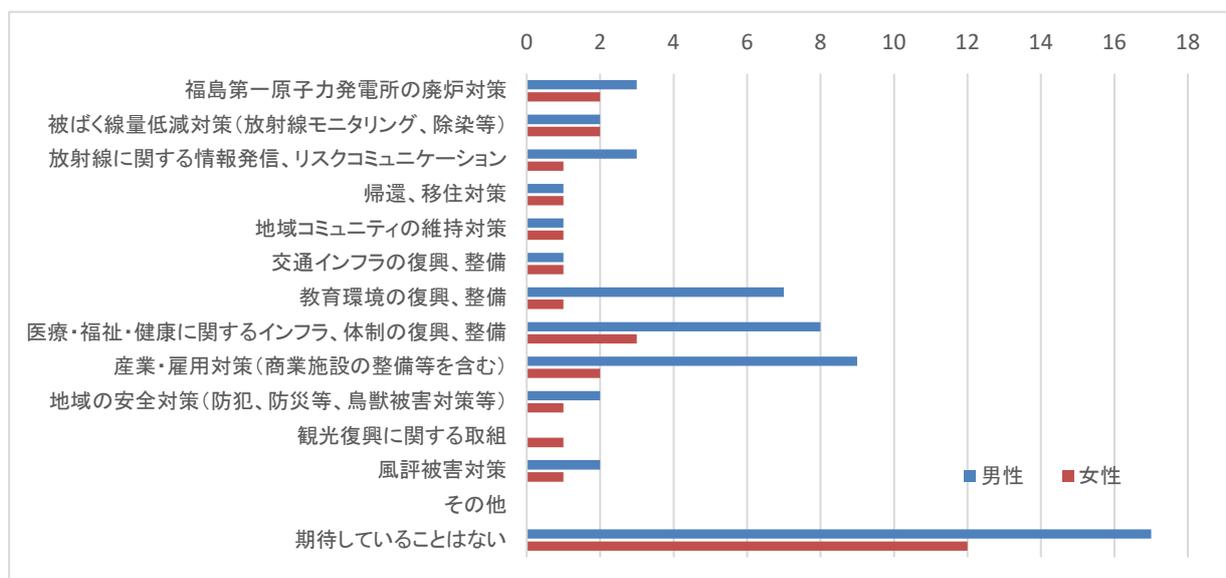
福島復興再生特別措置法に位置付けられた福島イノベーション・コースト構想に関する規定を踏まえ、国際教育研究拠点は、「創造的復興の中核拠点」として、原子力災害によって甚大な被害を受けた福島浜通り地域等において、国内外の英知を結集して、環境の回復、新産業の創出等の創造的復興に不可欠な研究及び人材育成を行い、発災国の国際的責務としてその経験・成果等を世界に発信・共有するとともに、そこから得られる知を基に、日本の産業競争力の強化や、日本・世界に共通する課題解決に資するイノベーションの創出を目指す。

Q 国が進めている福島復興に関する施策【教育・人材育成に関する事業（例：福島浜通り地域の国際教育研究拠点、福島復興産業人材育成塾）】を知っていますか。それぞれ最も当てはまるものをひとつ選択してください。



Q 国際教育研究拠点に関して、効果を感じた具体的な内容や不足していると感じる部分など、ご意見がございましたらご自由にご記入ください。

上記 Q にて「聞いたことがあります、内容も知っている」と回答した方の回答（男性=36/女性=20）



「国際教育研究拠点」に関して、期待する内容や期待が持てない理由など、ご意見がございましたらご自由にご記入ください。

自由記述からの「期待する」との意見

(男性)

新たな産業育成・雇用拡大に期待している
子供の未来の手助けになる取り組みを期待したい
放射線に関する研究所の設立
定住者の増加、特に子供が増えないと未来はない
これから期待しています
新規産業振興と復興事業をミックスさせて、早期実現に向け進めて頂きたい

(女性)

地元の子供たちに研究して欲しい
教育や子供達に関することは大いに賛成 これから今以上に少子化になっていくので
勉強も大切だが、運動不足が原因の子供の肥満が問題なので、運動教育も力を入れてほしい
いろんな分野の研究がもっと進んで欲しい

自由記述からの「期待できない」との意見

(男性)

実感がない
特になし
教育はもともと不平等なんで、効果がない
遅い。
国の対策が不十分

(女性)

優秀な人があえてこの地方に来るのだろうか...?
未だに古い教育で人が育つのか、という不安しかない。

浜通り地域が目指すべき将来像

浜通り地域が目指すべき将来像について、ご自由に記入して下さい。

廃炉に向けたテクノロジー発明をすすめ、日本のシリコンバレーになってほしい
豊かな街。適度な自然と適度な商業施設の融合。小さな子ども達が成長して大人になっても住みたい街作りを目指してほしい。
経済と地域の活性化、若者達の永住
自信を持ちたい
学力向上と明るい未来
自然（海・山）との共存
お店が増えるといい
震災前の環境 被災者の自立
補償助成を逸早くやめて、逸早く原発を再稼働すべき！
漁業が盛んで自然に恵まれた地域
明るさ
他にはない集客が見込める施設や企業誘致を勧め人を増やしていく
持続性のある官民一体の生活環境の 改善や底上げ
ドローンが活発に飛び回っている
事故後の放射能廃棄物を受け入れること。
金銭的な市民への助け
平穏な日常
若者が集まるために新幹線を通し、ライブ会場を建設する。
まず原発は永久的な廃炉。またロボットを中心とした先進企業地域の確立。
みんなが安心して暮らせる地域
差別のない平等
目指すべき事業のスピードアップを
原発のイメージが強いかもしれないが風評被害も含めてもっと住みたくなるような町づくりをしていかなければならないと思う
海で捕れたものがなんの疑いもなく他の県、国に美味しいと言われて欲しい
人が戻る、集まる地域
もともと過疎化していたのだし人のいるところにお金を使って欲しい
多くの政府関係機関の本部機能を福島に移転し、家族帯同で首都圏から移住をしてもらい、復興予算で他県の人がうらやむような「日本一住みたい県」にしてほしい。
福島第一原発を早く廃棄できるように政府と東京電力は全力を注いで早く廃炉にして欲しい。
もともと原発依頼の街だから最終処分場にする
型通りの街ではなく、地域の特性を活かして今までの産業だけでなく新たな企業誘致や自然を生かした観光産業を行なって欲しい
浜通りというか、いわきについてになってしまうが、東北の中でも住みやすい場所だし、ここがもっと発展していけば良いと思う。
人口流出、減少を食い止めながら、幅広い世代が住める地域。
観光は無理 産業しかない
過疎化しているし、いわき駅前も栄えてないし、交通の便も悪い。それを改善しないと発展はしない。

以前と変わらず海水浴ができる
浜通りが一番安全だという 風評を目指そう！
自然豊かな普通の生活。

平等

みなとみらいみたいに商業都市になる 要望としては街灯を増やして欲しい
風評被害がなくなり、観光客が戻り水産業が活性化してほしい
平和な地域。

緑があるきれいな自然が満喫できる地域

人口減少を前提として居住エリアと無人化エリアを分け、合理的なインフラ整備、維持を目指すべき。人口は増えないし、成立しない事業は廃業するしかないし、これまで地域ごとに分かれていたような同種の事業者の積極的な統合を促し、効率化を進めていく他ないだろう。

世界に先駆けた新エネルギー 負の世界遺産 震災という逆光を乗り越えた街

住みやすく定住できる環境

産業と地域の発展

人が集まるスポットを増やし、いわき駅前をもっと活性化すべきだと思う、いまは駅前が閑散かしてしまっていていわきに降り立った人は魅力を感じないと思う

津波が来て家などが流された場所には、今は新たな住宅や店などができたが、震災以降、その辺りの場所には住む人も少なくなり閑散としているので、色々な施設が作られ街全体が賑やかな場所になれば良いと思う。

原発事故前のような平和な浜通り地域。

賠償金を多くもらって働かずに生きていける原発成金（マンション、高級車を多数購入している）と全くもらっていない住民の格差是正をすべき。そうしないといつまでも感情の対立が続く。

もっと地域活性化させて観光業を発展させていくといいと思う。

世界中でどの地域も経験したことがない原発事故の経験を負の遺産ではなく価値あるものにしていけるように、最先端の技術や再生エネルギーを含めたエネルギー資源の知見が集結する仕組みの構築。原発事故前から住んでいる人と、事故後に移住や仕事で訪れた人の交流から新しい産業が創出されるとよい。

お魚取りまくってください！原発の影響はあまりないと思うので。

早期に原発問題を解決して、安心して生活できるようになりたい。

安心安全が、欲しい

次に地震が起きたとしても安全に生活できること 被害を受ける人が最低限におさまること
震災前のように、海で遊べる地域になってほしいです。

教育に力を入れるように、教員の意識を変える指導研修をしてほしい

みんなが安心して住める地域づくりができていたら嬉しいです。

関東地方と、東北地方最大の都市である仙台市との間に位置することから、この二つを繋ぐ連結地域として、経済を発展させたり、様々な企業を誘致したり、テレワークを積極的に導入することで新たな職を創設したりして、若者を中心に人の定着を促し、新たな一大都市圏を目指すべきである。

昨年度、震災以降初めて、浜通りに行ったが、余りにも変わっていたので驚いたが、今後は電力不足も大きく大きく成るので、そこも検討してほしい。原発に代わる、大規模発電もぜひ検討してほしいと思う。

原発周辺の治安が良くなり、事件事故の少ない普通の街並みに戻ること。

人が住めない地域は人が住まないのだからそれなりの利用した方が良い。土地がもったいない

また昔のように自然豊かな「いわき市」に戻って欲しい

元の状態が理想的

浜通り全体を考えるべき

30代の雇用をもっと作ってほしい！

地域全体が活性化し市民平等に暮らせる社会

県から独立してもやっていける様な独自の産業

自然を大事にいつでも来やすい安心して場所帰る場所

廃炉を通じて、世界を代表するようなテクノロジーのモデル都市になって欲しい

交通機関と立地の良さを生かしていきたいが 風評が早く取り除かれて本来の姿をみんなにわかしてもらいたい。

TOYOTA が静岡で行っている化石エネルギーを使わない未来都市の実現。

街の復興

安全な暮らしを守る

浜通りは中通りと会津に比べると、観光やら旅行といった項目では影が薄く思えるので、他二つの地域と並ぶか超えるくらいの地域になってほしい。

震災前と同じ姿に!!

原発事故が起きる前のようになること。

まず、人が安全、安心して生活できる地域にならないと。

人が少ないし、スーパーが足りない

住みやすい町

町を元通りに戻すことは不可能なので、自然と共生できる町づくりを望みます。再生可能エネルギーのみでの生活を実現してほしい。

移住者に、もっと手厚いサポートをして人口増加を目指さないと双葉郡などは原発作業員がいなくなると、すぐに破綻してしまう。

活性化

動物の殺処分がワースト2位です。なぜなのか、なんとなくわかります。家庭の事情でやむを得なくいわきに帰ってきましたが、事情がなければ全く帰って来たいと思わない町です。若者が減るのも頷けます。みんな結局、いつまでも被害者で居たくて、いつまでも支援金が欲しいだけ。

交通インフラ整備、安全安心な街づくり。

やはり、他から人が集まる「核」を作り、つくば学園都市のようなはっきりとした国家目標ののっとり、肅々と魅力ある街造りに全力を尽くしてもらいたい

治安がよく、医療も充実していて誰もが暮らしやすい地域になればいいなと思います。

従来の農業産業に留まらずロボット産業などの新しい産業の人材の育成、開発、製造などが出来上がり 地域や福島県を支えること

住みやすい街、働きやすい環境、子育て。

自然が豊かで、美味しい海の幸が安心してたべられる

活気のある街に戻してほしい

いろんな分野の研究開発の拠点になって欲しい

風評被害無し。

医療施設の充実

人にあふれた田舎と都市の中核的な存在

海の幸を安心して食べられる。 廃炉処理が終わり、大熊や双葉に人が戻る。 当たり前の光景。

避難者の帰還、汚染水、最終処分場、廃炉が福島が納得する形で完了すること。

10年もかかって未だに復興できていない。何かあれば国の責任、東電の責任。真に問題に向き合おうとしてない結果がいまの浜通り。何しても無駄ですよ。税金の。

震災前以上に住みやすい地域にする

とても住みやすいので、沢山のの人に知ってほしい

インフラ整備、人口増加

1日も早く本当に風評被害がなくなる事を望みます。

海で泳げたり魚が取れたりするようになる

風評被害を無くし、災害にすぐに対策できる

本当に震災前のような人口が戻るのか心配。今いるのは70歳以上の高齢者ばかりで将来行政が成り立つのかわからない。

浜通り地域人の前に東京電力が犯した人災による自然災害の事故によって民の生活拠点を死の土地にしてしまった事の生涯の詫びが無いいわき市の民も犠牲者だ

人口減をしないようにする

美味しい魚が食べられるようにしてほしいと思います

いわき地区で迷惑になっている相双地区の人間の早期帰還

自走かつ持続可能な地域

もっと発展してほしい

若年層の定住化を図り子育てしやすい環境づくりに力を入れてほしい

今まで通りにはならないと思うので、原発はいらないです。

風評被害のない漁業

そんな大それたことはわからないが、少なくともあと数十年は破壊した原発のあるエリアとして世界に名を馳せると思います。

個人に出す交付金はもう止めてくれ。贅沢三昧の姿を見ると、地元住民は腹が立つ。マスコミも悲愴なところばかり送信するのではなく、素晴らしい新宅、高級車がズラリ並んだ団地を被災にあった人達は今どうしているか?テレビ番組で放送してほしい

大学を出た子供たちが地元就職して暮らしたいと思える地域作り。

原発事故の教訓を活かした活動

処理水の処分、廃炉の早期完了。

大震災前と同じような活気のある町に戻ってほしい。健康のために色々な対策をもっと増やしてほしい。

復興というより発展

浜通り、元通りなんてフーズを聞きますが、もう無理なので原発の廃炉に向けて注力して頂きたいです。将来は、廃炉が終わってから始まるのではないのでしょうか?

昔のように浜には漁がかさんで賑やかになってほしい。放射能を気にせずに海水浴やサーフィンなど活気を取り戻す。風評被害は完全になくなり、皆が来たくなくなるような浜通り地区になりたい。

避難区域がなくなること

まずは放射線物質の処分場を決めなければならない。国外で処分を依頼できれば助かるが、事実上、福島県内に処分するしかないと考える。福島県民はその事実を覚悟しなければならないし、政府や国民はその事実を受け止め、福島を支援すべきと考える。日本人の誰もがこの事実から逃げ続けており、日本人は原子力を使う資格がないと考える。

震災前のように何気ない毎日を穏やかに過ごせるようになること。風評被害によって苦しむ人がいなくなること。

避難地区はもう戻る人間がいないのだから貯蔵施設なり作ってもかまわない いつまでも税金を無料にしているのは会津、中通りの住民が報われない

安心してすみたい

安心して住める街。観光の街。

地元の文化を大切にしつつ、多様な文化も取り入れるようにする

みんなが安心して生活できる拠点に

漁業関係の安心安全

大熊などもう医療費無料は辞めて欲しい。もうそろそろ自立して働くようになる雇用を増やして欲しい

交通インフラの整備はもちろん、人が集まるような商業施設の建設、テーマパークのようなものを作ったりして人を増やす。風評被害を減らし、安心安全な地域であることをアピールしていく。震災前よりも各段に成長した誰もが来たくそんな地域を目指したい。

若い人の雇用が沢山あり、人口が増えれば良いと思う。住みやすい、子育てしやすい、安心、安全な地域でありたい。

まだ引っ越して間もないのでこの地域に対してどのような案を考えて良いのかがよくわからない

風評被害を乗り越えて、教育レベルの高い、第一線になって欲しい

廃炉が完全に行われ、汚染水問題、汚染土壌の最終処分地の問題がクリアされない限り未来はないだろうと思う。

白地区の早期解消

将来像が見えていない。住民の意見や要望が反映されていないように思える

すべての地域が居住可能となる

落ち着いて生活できる環境

被爆からの復興

原発への不安がない生活

温暖な気候をいかした産業や農業センターの推進

早く避難していわき市に住んでいる方が帰還して、いわき市が震災前の住みやすい市に戻ってほしい。

震災を忘れず安心安全が一番です

早く復興してほしい

逆境から再生する姿を世界に発信

気温も暑すぎず寒すぎずなので、移住者が増え、観光も産業も農業、漁業が盛んな街

いわきを拠点とした都市整備

除染を最優先で推し進め、若者が住みやすい街づくりをしてくれることを期待する

元々、日照時間が長く温暖で、雪が少なく、海・山・川と自然に恵まれて、台風の直撃も無く、暮らし易い地域であったと感じます。それらを、利用したレジャーを安全に楽しめ、スマートシティ構想と合わせて、安定した雇用がある地域になる事が理想です。ピンハネされずに、税金をその様に投入して欲しいと思います。

安心 安全な町。

漁業という産業を失ったこれからの、新しい事業を作らなければならない

商業施設も大切だけど、まずは住んでいる人達が住みやすい！子育てしやすい！それが1番だと思おう

津波を経験しているので、その経験を生かし津波に強い街作いや、日照時間が長い地域なのでそ

れを生かした産業や生活が目指すべき将来像ではないかと考えます。

早期廃炉と新規産業の開拓

化石エネルギーを使わない、YOYOTAが進める都市のような構想を立てて貰いたい。

関東圏と繋がる都市化

10年も経てば生活基盤も整っているだろうし、地元みんな帰れとは言わないが、納めるべき自治体に市民税を納め、住民票を置き、普通の生活をして欲しい。ずっと避難せず復興のため、逃げる場所がないからと、この場に留まった人たちへの何らかの形での恩返しがあってもいい。市民税は上がり、交通マナーも悪くなった。被災者への支援はもう十分だと思う。ずっと同じ地で耐えてきた人にも手を差し伸べて欲しい。

環境汚染の防止

原発の風評被害を無くして、他の地域の人たちと交流が持てるようにしてほしい。

もっと浜通りの事を日本全土に知って貰いたい まだ放射能汚染してるところと思ってる人が多い

風評被害がなく、安心して暮らせるようになってほしい

被災者が戻れるようにしてほしい

イベントなど多くして盛り上げてほしい。

超過疎化を100年先取りした地域として、国家百年の計を作り上げるためのモデルケースとしての存在価値

風評被害を払拭しつつ、この地区で起きたことを風化させないよう後世に伝えていくこと。ここに住んでいる人々が明るく元気に過ごしていることを証明するべき。

元の生活に戻してほしい

震災前の環境 被災者の自立

補償助成を逸早くやめて、逸早く原発を再稼働すべき！

いわき市に避難してる人は元の場所に帰ってほしい

持続性のある官民一体の生活環境の改善や底上げ

廃炉が終わったら、何もなくなってしまふ

もともと過疎化していたのだし人のいるところにお金を使って欲しい

福島第一原発を早く廃棄できるように政府と東京電力は全力を注いで早く廃炉にして欲しい。

もともと原発依頼の街だから最終処分場にする

過疎化しているし、いわき駅前も栄えてないし、交通の便も悪い。それを改善しないと発展はしない。

以前と変わらず海水浴ができる

いわき市民と相双地区の人達の距離感は縮まらないとおもう。

震災前の生活にみんなが戻れる

原発動かして電源地域として社会に貢献することでしょう。環境とかスポーツじゃあ、この地域は良くならない。原発の有効利用を模索してマイクロ原発など最新の技術を導入する。都市機能があり人がいない環境を利用して自動運転などの技術の社会実験をする。とか、キレイごとばかり並べるマスゴミや役所の連中の考えは消し去るべき。まあ、むりだろうけどね

原発事故前のような平和な浜通り地域。

賠償金を多くもらって働かずに生きていける原発成金(マンション、高級車を多数購入している)と全くもらっていない住民の格差是正をすべき。そうしないといつまでも感情の対立が続く。

いつまでも、双葉郡の人に被害者ぶってテレビに出るのを辞めてもらいたい。

震災前の生活。避難民が自分の元いた土地に帰る事が先決。今は税金を補償金や賠償金として受け取っている避難民と、その税金を支払っても恩恵がない地元民が混在しており、イライラする。

早期に原発問題を解決して、安心して生活できるようになりたい。

安心安全が、欲しい

とにかく、原発爆発当時福島県に在住していた納税者に、給付金を支給してほしい。外国人が日本の土地や会社を買収しているが、そんなことをやめさせて、納税している日本人全てを助けてほしい。日本国が、納税している日本人を救ってほしい。

風評被害がなくなる限り難しい「絵に描いた餅」

次に地震が起きたとしても安全に生活できること 被害を受ける人が最低限におさまること

人を増やすというが元々人がいない

現状以下にならない事だけ

原発周辺の治安が良くなり、事件事故の少ない普通の街並みに戻ること。

人が住めない地域は人が住まないのだからそれなりの利用した方が良い。土地がもったいない
また昔のように自然豊かな「いわき市」に戻って欲しい

元の状態が理想的

浜通り全体を考えるべき

震災前と同じ姿に!!

人口多すぎ

原発事故が起きる前のようになること。

人が少ないし、スーパーが足りない

移住者に、もっと手厚いサポートをして人口増加を目指さないと双葉郡などは原発作業員がいなくなると、すぐに破綻してしまう。

活性化

動物の殺処分がワースト2位です。なぜなのか、なんとなくわかります。家庭の事情でやむを得なくいわきに帰ってきましたが、事情がなければ全く帰って来たいと思わない町です。若者が減るのも頷けます。みんな結局、いつまでも被害者で居たくて、いつまでも支援金が欲しいだけ。

元通り

原発が廃炉になる事が一番願ひである時頑張っていわき市に住んでいた人達の事をもう一度考えていただきたい

なんかなー。いまだに帰れない人。かわいそうなんでどうにかするまで 海外行事は参加するべきではないと思います。わたしの住んでるところはまだ平和ですがいまだに原子力政策があいまいなのはコロナ対策とおんなじかも。

原発周辺に人を帰村させるのではなく、原発で出たゴミはその周辺に置いて、全国にゴミを広げないようにして欲しい

原発が完全に取り除かれ、震災前の状態に戻る。

震災前の活気にあふれる街並みを返して欲しい

海の幸を安心して食べられる。 廃炉処理が終わり、大熊や双葉に人が戻る。 当たり前の光景。
10年もかかって未だに復興できていない。何かあれば国の責任、東電の責任。真に問題に向き合おうとしてない結果がいまの浜通り。何しても無駄ですよ。税金の。

震災前以上に住みやすい地域にする

とても住みやすいので、沢山のの人に知ってほしい

インフラ整備、人口増加

浜通りに、首都移転でもしなければ、改善しません。

本当に震災前のような人口が戻るのか心配。今いるのは 70 歳以上の高齢者ばかりで将来行政が成り立つのかわからない。

浜通り地域人の前に東京電力が犯した人災による自然災害の事故によって民の生活拠点を死の土地にしてしまった事の生涯の詫びが無いいわき市の民も犠牲者だ

元に戻して下さい。浜通り全体に補償金を下さい。

人口減をしないようにする

いわき地区で迷惑になっている相双地区の人間の早期帰還

若年層の定住化を図り子育てしやすい環境づくりに力を入れてほしい

今まで通りにはならないと思うので、原発はいらないです。

個人に出す交付金はもう止めてくれ。贅沢三昧の姿を見ると、地元住民は腹が立つ。マスコミも悲愴なところばかり送信するのではなく、素晴らしい新宅、高級車がズラリ並んだ団地を被災にあった人達は今どうしているか?テレビ番組で放送してほしい

浜通り、元通りなんてフーズを聞きますが、もう無理なので原発の廃炉に向けて注力して頂きたいです。 将来は、廃炉が終わってから始まるのではないのでしょうか?

まずは放射線物質の処分場を決めなければならない。 国外で処分を依頼できれば助かるが、事実上、福島県内に処分するしかないと考える。 福島県民はその事実を覚悟しなければならないし、政府や国民はその事実を受け止め、福島を支援すべきと考える。 日本人の誰もがこの事実から逃げ続けており、日本人は原子力を使う資格がないと考える。

原発なんて言う、地球にとって何の役にも立たないものは即刻廃棄すべし。

若い生産世代は他の地域での生活がある。帰還にこだわらなくてもよい。ただ、帰宅困難区域の整備管理は必要。 近隣の居住地へ不審者や野生動物などの不安もある。

未来はない

避難地区はもう戻る人間がいらないのだから貯蔵施設なり作ってもかまわない いつまでも税金を無料にしている会津、中通りの住民が報われない

地元志向が強すぎる

大熊などもう医療費無料は辞めて欲しい。もうそろそろ自立して働くようになる雇用を増やして欲しい

交通インフラの整備はもちろん、人が集まるような商業施設の建設、テーマパークのようなものを作ったりして人を増やす。 風評被害を減らし、安心安全な地域であることをアピールしていく。 震災前よりも各段に成長した誰もが来たくなるそんな地域を目指したい。

若い人の雇用が沢山あり、人口が増えれば良いと思う。住みやすい、子育てしやすい、安心、安全な地域でありたい。

最終処分場しかないと思う

風評被害を乗り越えて、教育レベルの高い、第一線になって欲しい

廃炉が完全に行われ、汚染水問題、汚染土壌の最終処分地の問題がクリアされない限り未来はないだろうと思う。

少なくとも、原発事故前の状態であること

白地区の早期解消

将来像が見えていない。 住民の意見や要望が反映されていないように思える

早く避難していわき市に住んでいる方が帰還して、いわき市が震災前の住みやすい市に戻ってほしい。

特別なものはいらない。 震災前の原発事業が震災後に廃炉事業で十分成り立つ。

震災を忘れず安心安全が一番です

震災前の当たり前の生活

早期廃炉と新規産業の開拓

10年も経てば生活基盤も整っているだろうし、地元みんな帰れとは言わないが、納めるべき自治体に市民税を納め、住民票を置き、普通の生活をして欲しい。ずっと避難せず復興のため、逃げる場所がないからと、この場に留まった人たちへの何らかの形での恩返しがあってもいい。市民税は上がり、交通マナーも悪くなった。被災者への支援はもう十分だと思う。ずっと同じ地で耐えてきた人にも手を差し伸べて欲しい。

環境汚染の防止

もっと浜通りの事を日本全土に知って貰いたい まだ放射能汚染してる場所と思ってる人が多い

せめて事故前ぐらいに戻って欲しい

被災前の状態

東電はちゃんとしてほしい

目指すべきは震災以前の状況へ戻すこと以外にない。

風評被害を払拭しつつ、この地区で起きたことを風化させないよう後世に伝えていくこと。ここに住んでいる人々が明るく元気に過ごしていることを証明するべき。

※上記以外に「特になし」「なし」「わからない」といった回答も相当数あった。

4. まとめ

今回のアンケート調査の結果について、浜通り地域が目指すべき将来像と福島復興全体に関する要望等としてまとめると。

浜通り地域が目指すべき将来像

- 若年層の定住化を図り子育てしやすい環境づくりに力を入れてほしい。
- 小さな子ども達が成長して大人になっても住みたい街作りを目指してほしい。
- 型通りの街ではなく、地域の特性を活かして今までの産業だけでなく新たな企業誘致や自然を生かした観光産業を行なって欲しい。
- 浜通りは一番安全だという 風評を目指そう！
- 人が安全、安心して生活できる地域にならないと。
- 事故前から住んでいる人と、事故後に移住や仕事で訪れた人の交流から新しい産業が創出されるとよい。
- 廃炉を通じて、世界を代表するようなテクノロジーのモデル都市になって欲しい。

福島復興全体に関する要望等

- 風評被害を払拭してほしい。(多数あり)
 - 福島は安全と、もっと発信して欲しい。
 - 廃炉事業だけでは無く 幅広い分野の雇用の創出。
 - 原発の廃炉だけでなく、新しい産業が産まれるような仕組みや仕掛けが必要。
 - 今後は福島県の復興状況をどんどん発信し、いい意味で魅力的な部分を知ってもらえるようにしていけたらいいと思う。
- 福島の将来に対して、若年層が定住し、安全・安心な生活基盤を持ち、新たな産業が創出されるような地域を目指したいという前向きな意見がある。
- 国の施策について、その効果を住民がもっと実感でき、安心して生活できるように進めていくことが必要ではないか。

5. 問題提起

また、調査結果から提起された問題としては以下がある。

- **生活に重要なテーマ**として「帰還、移住対策」を選択する回答者が少ないことについて、回答者の多くがいわき市在住で、帰還困難区域からの避難者もすでにいわき市定住されており、帰還を希望されている住民が少ないのではないか。

⇒帰還を増やすにはどのような施策があるか？

- **再生加速化交付金**は、生活環境整備を促進することにより帰還を進めることも一つの目的としており、認知度はそれほど低くはないが、認知している回答者の回答が「帰還、移住対策」に効果を大きくは感じていないという結果となっているのは、支援策が住民の期待とうまくマッチしていないのではないか。

⇒支援策と期待がマッチするにはどうしたら良いか？

- **特定復興再生拠点区域復興再生計画**も、これまでは将来にわたって居住を制限するとされてきた帰還困難区域に居住を可能とする区域を設け、帰還の一助とするものだが、認知度も低く、認知している回答者の特に女性の回答が効果を感じている分野がほとんどない結果となっているのは、回答者の多くがいわき市在住で、帰還を断念されている住民が多いのではないか。

⇒認知度が低い、効果を感じている分野がない理由は何か？

⇒認知度を高める？効果を上げるにはどうしたら良いか？

- **イノベーション・コースト構想**は、浜通り地域等の産業を回復するため、当該地域の新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトであり、これにより人材育成や人の交流の拡大を目的としているが、交通インフラや廃炉対策への効果を感じている回答者が多くなっていること、男女で効果を感じている分野が異なるという結果となっているのは、施策の情報や目的が正確に伝わっていないのではないか。

⇒施策の情報や目的を正確に伝えるにはどのような方法があるか？

⇒イノベーション・コースト構想を実現するにはどうしたら良いか？

6. おわりに

アンケート調査の結果から見えてきた課題としては以下のような項目がある。

- 福島の将来に対して、若年層が定住し、安全・安心な生活基盤を持ち、新たな産業が創出されるような地域を目指すにはどうしたら良いか？
- 国の施策について、その効果を住民がもっと実感でき、安心して生活できるようにするにはどうしたらできるか？
- 避難したが帰還した人、帰還を迷っている人、移住してきた人にとって良い施策は何か？
- 原子力学会、原子力学会員としての何ができるか、役割は何か？

福島特別プロジェクトとしてこれらの課題について少しでも解決策を提案できるように活動していきたいと考えている。